

”一志不退”自分づくり
の1年生

- ・思いやれる自分づくり
- ・行動できる自分づくり
- ・あきらめない自分づくり



”一志不退”

- ・喜怒哀楽をわかり合う
- ・行動を起こす
- ・成功を信じる

学年目標を決めました。「一志不退」とは、一度志したら目標達成に向けて迷わず進むという意味です。「進む」という言葉でいうと、猪突猛進（むこう見ずに猛然と突き進むこと）という言葉もあります。「一志不退」の「迷わず進む」には「志」をもって進むという意味が込められています。

- 喜怒哀楽をわかり合う……自分を自分の存在価値をわかり、相手の思いや立場もわかって、互いを理解し合うことの大切さを学んでほしいと願います。
- 行動を起こす……思いついたら、やる。言うだけでなく、やる。何か変わろうと、実際に行動を起こしたときに、ゼロだったものが「1」になります。やがて「1」は「10」になり、さらに……。これが、「行動」です。
- 成功を信じる……これを改善しなくちゃ、もっとやらなくちゃ、だけでは、将来を見通すことはできません。「成功イメージ」をもってください。あなたが目標を達成したとき、どんな姿に成長しているか、どんな喜びを味わえているのか、です。その成功を信じてこそ、絶え間ない努力は継続できるのです。

「進む」という文字が入っている言葉の僑軍孤進（きやうぐんこしん誰からの助けもなく、孤立した状態で進軍すること。または、誰からも助けられることなく、一人で事に当たること）という言葉ではなく、2年生179人で進んでいき・創り上げていきましょう。

GWどう過ごしますか？ もうすぐゴールデンウィーク。5月2日をのぞき6日間の休みとなります。部活動もあるでしょうが、このゴールデンウィークにはこんなことに取り組んでみたらどうでしょうか。

- ①中間テストに向けた学習に取り組む（右の記事を参照してください）
- ②家の手伝いを……毎日の決まった家事分担がある人も多いかと思います。この6日間の休日の中で、いつもとは違った家の手伝い・仕事を1つでも行ってみましょう。

北中が生まれた頃のお話

5月1日は北中学校の開校記念日。北中が開校した昭和37年の4月1日の三郷市の人口は17971人（今年の同日は137940人）。昭和39年の東京オリンピックに向けオリンピック景気が始まり、東京都の人口が1000万人を突破し世界初の1000万都市になった年でした。

北中は2つの中学校が統合してできました。1つは、彦成村立彦成中学校（昭和31年に町村合併により三郷村立第3中学校）と早稲田村立早稲田中学校（同第1中学校）が町村合併により統合し、昭和37年4月1日に三郷村立北中学校ができました。統合されたといっても、それまでの校舎を使っていたので学校が2つに分かれていて、本校と分教場という扱いでした。昭和40年10月に今の北校舎の建設が始まり、昭和41年9月1日に本格的に統合され、1つの校舎で学ぶようになりました。この日に校歌も制定されました。

中間テストに向けて

「2年生になったばかりなのにもう中間テスト」という声が聞こえてきそうですが、5月13日に中間テストが行われます。間に連休も入り、2年生の教科の授業時間が少ない中で中間テストを迎えることになりま

2	離任式
6・7	学校公開
9	振替休業日
10	集金日、諸活動停止
13	中間テスト
17	専門委員会
28	運動会

生徒会本部の発案で熊本地震被災地への募金活動を、20～22日に行いました。

もう中間テスト」という声が聞こえてきそうですが、5月13日に中間テストが行われます。間に連休も入り、2年生の教科の授業時間が少ない中で中間テストを迎えることになりま

す。教科によっては、1年生で学習した範囲が中間テストに出題されることもあるかと思います。連休が終わったら中間テストまで1週間しかありません。諸活動が中止になっても平日に学習時間を多く確保することはなかなか難しいことがあります。この連休での学習が大切になってきます。計画的な学習に取り組みましょう。

小学校にはなかった定期テストの期間が中学校にあるのは、「中学生になったら一定期間集中して特別に集中して学習に取り組む力がついているはずだ」という考え方があるからです。テストに向けての学習は、自分に「集中して取り組む力」がどれくらい身についているのかを確認することでもあるのです。

